

The 37th
**Tokyo
Motor
Show**
Passenger Cars & Motorcycles

出品者の手引き

Guide to the 37th Tokyo Motor Show
for Exhibitors

October, 2003

社団法人 日本自動車工業会

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル

Japan Automobile Manufacturers Association, Inc. (JAMA)

Otemachi Bldg., 6-1, Otemachi 1-chome

Chiyoda-ku, Tokyo 100-0004 Japan

Tel. 03-3211-8875

Fax. 03-3211-5798

目次

【1】 開催要綱.....	2
【2】 ショーテーマ.....	3
【3】 公式行事.....	4
【4】 出品状況.....	5
【5】 出品車両数一覧(ワールドプレミア・ジャパンプレミア数).....	6
【6】 スポンサーシップ・プログラム導入.....	8
【7】 特別企画.....	9
【8】 関連企画.....	16
【9】 プレス対応の概要.....	17
【10】 各種サービス.....	19
【11】 交通アクセス.....	25
【12】 会場管理.....	28
【13】 防災計画.....	33
【14】 東京モーターショーの記録.....	45
【15】 自動車ガイドブックの案内.....	48
【16】 社団法人 日本自動車工業会の紹介.....	49
【17】 出品者名簿.....	50

Contents

【1】 Outline of the 37th Show.....	70
【2】 Theme of the 37th Show.....	71
【3】 Official Events.....	72
【4】 Exhibit Distribution.....	73
【5】 Number of Exhibits(World Premiere/Japan Premiere).....	74
【6】 New Sponsorship Program.....	76
【7】 Special Evets.....	77
【8】 Related Events.....	84
【9】 Press Services.....	85
【10】 Visitor/Exhibitor Services.....	87
【11】 Transportation Access.....	92
【12】 Site Management.....	95
【13】 Tokyo Motor Show Disaster Prevention Plan.....	98
【14】 Data on Tokyo Motor Shows.....	106
【15】 “Automotive Guidebook of Japan ”.....	109
【16】 Introduction to Japan Automobile Manufacturers Association, Inc.....	110
【17】 List of Exhibitors.....	111

【1】開催要綱

1. 名称 第37回東京モーターショー - 乗用車・二輪車 - (2003年)
The 37th Tokyo Motor Show - Passenger Cars & Motorcycles - (2003)
2. 主催 社団法人 日本自動車工業会
3. 共催 社団法人 日本自動車部品工業会
社団法人 日本自動車車体工業会
社団法人 日本自動車機械器具工業会
4. 総裁 寛仁親王殿下
5. 会長 宗 国 旨 英
6. 会期 平成15年10月24日(金)～11月5日(水)
(1)報道関係者招待日 10月22日(水)～23日(木)
(2)特別招待日(開会式) 10月24日(金)
(3)一般公開日 10月25日(土)～11月5日(水)
7. 開場時間 (1)報道関係者招待日 9時00分～18時00分
(2)特別招待日(開会式 特別招待者) 9時00分～18時00分
" (一般招待者) 12時30分～18時00分
(3)一般公開日(平日) 10時00分～19時00分
" (土・休日) 9時30分～19時00分
(時間は止むを得ない場合は変更し、時には入場を制限することがあります)
8. 入場料 一般：1,200円(前売1,000円) 中学・高校生：600円(前売500円) 小学生以下：無料
15時以降入場料 一般：1,000円 中学・高校生：500円(当日会場売)
9. 会場 千葉市・幕張 幕張メッセ 日本コンベンションセンター
10. 後援 外務省、経済産業省、国土交通省、環境省、東京都、千葉県、千葉市
国際自動車工業連合会(OICA)、日本貿易振興会(ジェトロ)
11. 協賛 日本自動車輸入組合、日本自動車研究所、日本自動車会議所、自動車技術会、
日本自動車販売協会連合会、日本道路公団、首都高速道路公団、全日本交通安全協会、
日本自動車連盟、日本損害保険協会、日本モーターサイクルスポーツ協会、
全国軽自動車協会連合会、日本自動車整備振興会連合会、板硝子協会、
日本アルミニウム協会、特殊鋼倶楽部、日本ゴム工業会、日本自動車タイヤ協会、
石油連盟、電池工業会、日本鉄鋼連盟、日本電機工業会、日本電球工業会、
電子情報技術産業協会、日本塗料工業会、日本ばね工業会、日本ファインセラミックス協会、
日本プラスチック工業連盟、日本ベアリング工業会、日本陸用内燃機関協会 (順不同)

OICA: Organisation Internationale des Constructeurs d'Automobiles

【2】 ショーテーマ

いま、挑む心。Challenge & Change

- 希望、そして確信へ -

21 世紀に入り、世界の自動車産業は、メーカー間のアライアンス・グループ化、地球環境問題への取り組み、クルマと IT の融合、一層高度化が求められる安全技術、加えてユーザーニーズの多様化と顧客満足度の要求など様々な課題に直面しています。

“いま、これらの課題に正面から挑みつづける姿勢こそ、明日への希望と確信につながることを互いに実感し、共有したい。”この思いをテーマに託し、東京モーターショーは、これからも社会の要請に応え、自らも進化しつつ、常に新しいメッセージを発信してまいります。



第 37 回東京モーターショー ポスター

(ロゴマークおよびポスターのデジタルデータは、以下のサイトからダウンロードできます。
<http://www.tokyo-motorshow.com/show/2003/exhibitors/> ID:exhibitors: PW: 20031024)

[3] 公式行事

スケジュール

日時	行事内容	時間	実施場所
特別招待日 10月24日 (金)	開会式	10:00 ~ 10:35	コンベンションホール
	総裁場内ご高覧	10:40 ~ 12:00	会場内
	祝賀レセプション	12:30 ~ 14:00	コンベンションホール
	特別招待者 一般招待者	9:00 ~ 18:00 12:30 ~ 18:00	

開会式次第

1. 日時 平成 15 年 10 月 24 日 (金) 10 時 ~ 10 時 35 分
2. 会場 国際会議場 2 階コンベンションホール

10:00	総 裁 ご 入 場	寛仁親王同妃両殿下ご着席
	開 会 の 辞	加藤理事 (司会)
	国 旗 掲 揚	「君が代」吹奏に合わせて国旗掲揚
	会 長 挨拶	宗国会長
	祝 辞 (1)	経済産業大臣 中 川 昭 一 様
	祝 辞 (2)	国土交通大臣 石 原 伸 晃 様
	祝 辞 (3)	千葉県知事 堂 本 暁 子 様
	来 賓 紹 介	O I C A 会長 ジョセフ・ケルパ 様
	吹 奏 楽	千葉県警察本部音楽隊
	開 会 宣 言	小枝副会長
	テ ー プ カ ッ ト	寛仁親王妃信子殿下
10:35	開 会 の 辞	加藤理事
10:40	総 裁 場 内 ご 高 覧	両殿下電気自動車で会場をご高覧

【4】 出品状況

出品区分		第35回ショー		第37回ショー			
		出品面積 m ²	会社数	出品面積 m ²	会社数	35回実績比 m ²	
乗用車	国産車	14,775	10	14,670	9	105 (99.3%)	
	外国車	13,430	27	13,560	29	130 (101.0%)	
	計	28,205	37	28,230	38	25 (100.1%)	
二輪車	国産車	3,245	4	3,250	4	5 (100.2%)	
	外国車	785	7	815	8	30 (103.8%)	
	計	4,030	11	4,065	12	35 (100.9%)	
部品	国内	会員	562小間	151社 1団体	570小間	137社 1団体	8小間 (101.4%)
		非会員	131小間	35	134小間	33	3小間 (102.3%)
		小計	693小間	186社 1団体	704小間	170社 1団体	11小間 (101.6%)
	外国	企業	136小間	39	91小間	30	45小間 (66.9%)
		政府	67小間	6政府	46小間	4政府	21小間 (68.7%)
		小計	203小間	39社 6政府	137小間	30社 4政府	66小間 (67.5%)
計		896小間 (8,064m ²)	225社 1団体 6政府	841小間 (7,569m ²)	200社 4政府 1団体	55小間 (495m ²)	
電気自動車		720	1団体	-	-	-	
屋内 展示	出品面積計	41,019		39,864		1,155 (97.2%)	
	特別企画計	1,100		1,695	13	595 (154.1%)	
	合計	42,119	273社 6政府 2団体	41,559	263社 4政府 1団体	560 (98.7%)	
屋外 展示		-	-	-	-	-	
	合計	-	-	-	-	-	
総合計		42,119	273社 6政府 2団体	41,559	263社 4政府 1団体	560 (98.7%)	

出品参加国	35回ショー： 13ヶ国	37回ショー： 14ヶ国
		ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、イタリア 韓国、オランダ、スペイン、スウェーデン スイス、イギリス、アメリカ、日本 政府出品 ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、スウェーデン、アメリカ

共催団体(日本自動車部品工業会、日本自動車車体工業会、日本自動車機械器具工業会)の正会員

【5】 出品車両数

国内出品車両内訳

WP:ワールドプレミア(東京モーターショーが世界で初披露となる出品物)

J P:ジャパンプレミア(海外既発表だが、日本では東京モーターショーが初披露となる出品物)

メーカー名	出品台数	WP	J P	ユニット
スズキ	21	4	1	1
ダイハツ工業	18	5	1	4
トヨタ自動車	29	6	2	3
日産自動車	21	7	1	10
富士重工業	14	3	1	4
本田技研工業	19	4	0	8
マツダ	14	3	3	6
三菱自動車工業	20	2	3	4
光岡自動車	6	4	0	1
乗用車9社計	162	38	12	41
川崎重工業	21	0	9	2
スズキ	42	6	7	1
本田技研工業	45	5	4	7
ヤマハ発動機	17	11	6	1
二輪車4社計	125	22	26	11
国内車両合計	287	60	38	52

(第35回実績)

出品者	車種	乗用車	二輪車	合計	ユニット
国産車(12社 1団体)		213	225	438	88
外国車(33社)		201	70	271	41
合計(45社 1団体)		414	295	709	129

外国出品車両内訳

国名	メーカー名	出品台数	WP	J P	ユニット
アメリカ	ゼネラルモーターズ	13	0	4	0
	フォード	8	0	2	0
	ダムラー・クライスラー(クライスラー)	9	1	2	0
イギリス	アストン・マーチン	2	0	1	1
	ジャガー	7	0	0	0
	ランドローバー	7	0	1	1
	ベントレー	2	0	1	1
	ロールスロイス	1	0	0	0
イタリア	フィアット	12	0	4	0
	フェラーリ	3	0	1	0
	マセラティ	5	0	2	0
	ランボルギーニ	2	0	1	0
スウェーデン	サーブ	4	0	2	0
	ボルボ	3	0	0	0
大韓民国	ヒュンダイ	5	1	2	0
	起亜	3	0	3	0
ドイツ	アウディ	8	0	3	5
	アルピナ	4	0	3	0
	オペル	6	0	3	0
	ダムラー・クライスラー(メルセデス・ベンツ)	14	0	0	0
	スマート	5	0	0	0
	AMG	2	0	0	0
	BMW	20	0	0	0
	フォルクス・ワーゲン	12	0	4	2
	プガッティ	1	0	0	0
	ボルシェ	9	0	0	5
フランス	シトロエン	7	1	3	0
	プジョー	13	0	2	0
	ルノー	8	0	6	2
乗用車7ヶ国計	29社	195	3	50	17
アメリカ	ハーレー・ダビッドソン	21	9	0	0
イギリス	トライアンフ	4	0	1	0
イタリア	ドゥカティ	13	0	0	0
	マーニ	1	0	0	0
	モトグッチ	5	0	0	0
オーストリア	K T M	2	1	1	0
スイス	グルッターガット	1	0	0	0
ドイツ	BMW	16	0	0	0
二輪車6ヶ国計	8社	63	10	2	0
海外車両合計	36社	258	13	52	17
加ツェリア5ヶ国計	13社	31	14	6	0
国内・海外総合計	60社	576	87	96	69

	WP	J P
部品部門(200社、4政府、1団体)	40	16

外国出品車両内訳

国名	メーカー名	出品台数	WP	J P	ユニット
アメリカ	ゼネラルモーターズ	13	0	4	0
	フォード	8	0	2	0
	ダムラー・クライスラー(クライスラー)	9	1	2	0
イギリス	アストン・マーチン	2	0	1	1
	ジャガー	7	0	0	0
	ランドローバー	7	0	1	1
	ベントレー	2	0	1	1
	ロールスロイス	1	0	0	0
イタリア	フィアット	12	0	4	0
	フェラーリ	3	0	1	0
	マセラティ	5	0	2	0
	ランボルギーニ	2	0	1	0
スウェーデン	サーブ	4	0	2	0
	ボルボ	3	0	0	0
大韓民国	ヒュンダイ	5	1	2	0
	起亜	3	0	3	0
ドイツ	アウディ	8	0	3	5
	アルピナ	4	0	3	0
	オペル	6	0	3	0
	ダムラー・クライスラー(メルセデス・ベンツ)	14	0	0	0
	スマート	5	0	0	0
	AMG	2	0	0	0
	BMW	20	0	0	0
	フォルクス・ワーゲン	12	0	4	2
	プガッティ	1	0	0	0
	ボルシェ	9	0	0	5
フランス	シトロエン	7	1	3	0
	プジョー	13	0	2	0
	ルノー	8	0	6	2
乗用車7ヶ国計	29社	195	3	50	17
アメリカ	ハーレー・ダビッドソン	21	9	0	0
イギリス	トライアンフ	4	0	1	0
イタリア	ドゥカティ	13	0	0	0
	マーニ	1	0	0	0
	モトグッチ	5	0	0	0
オーストリア	K T M	2	1	1	0
スイス	グルッターガット	1	0	0	0
ドイツ	BMW	16	0	0	0
二輪車6ヶ国計	8社	63	10	2	0
海外車両合計	36社	258	13	52	17
加ツェリア5ヶ国計	13社	31	14	6	0
国内・海外総合計	60社	576	87	96	69

	WP	J P
部品部門(200社、4政府、1団体)	40	16

【6】 スポンサーシップ・プログラム導入

出品者と来場者にとって、これまで以上に付加価値の高い、魅力的な国際モーターショーとするため、今回東京モーターショーとしては初めてスポンサーシップ・プログラムを導入した。対象は国内外の自動車・二輪車メーカーを除き、東京モーターショーの伝統と品位に相応しい企業から幅広く募った。スポンサー企業に対しては、会場、ショーパンフレット、オフィシャルWebサイトなどへ広告スペースを提供するほか、会場でのスポンサー企業専用ブースの設置、スポンサー企業名の露出、招待券の提供など、幅広い特典を供与する。これらのスポンサー・フィーは、付加価値をより高めた新しいスタイルの東京モーターショーの実現、業界としての情報発信の拡大、女性層を含む若年層を中心にさらなる集客増を目指し、様々な特別企画を実施するための原資として活用する。本年のスポンサー企業は以下の通りである。

【スポンサーシップ・プログラム参加企業】

株式会社オートウェーブ
翼システム株式会社
株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメント
昭和シェル石油株式会社
モバイルキャスト株式会社
マイクロソフト株式会社
日本たばこ産業株式会社
サントリー株式会社（オフィシャルドリンク）

【イベント・タイアップ】

上記のスポンサーシップ・プログラムとは別に、個別のイベントにご協賛いただく企業は次の通り。

株式会社ブリヂストン（プレスセンター）
株式会社トミー（トミカ・コーナー）
凸版印刷株式会社（Motor Info Gate）
富士ゼロックス株式会社、富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社
（東京モーターショーニュース発行）
日本航空株式会社（海外プレス招致）

【7】 特別企画

1. フェスティバルパーク

西休憩ゾーン（イベントホール西側）において、交通安全啓発活動及び、女性や子供向けの集客イベントを行う総合エンターテイメントスペース「フェスティバルパーク」を設ける。大型スクリーンを配した特設ステージで各種ショーを行う他、休憩ベンチも設け、従来の休憩スペースとしての機能も果たす。

1) フィエスタ・マリスコス

様々なパフォーマンスやダンスメドレーを展開しながら、大鍋パエリアを作り上げる。ショーを堪能した後はパエリアが試食出来るというライブ・クッキングショー。

2) 「トラフィック戦隊アンゼンジャー」ショー

子どもに人気のヒーローものアクション劇の中に、「交通安全」を学ぶ要素を盛り込んだライブ・ショー。

3) トライアルデモンストレーション

トライアル国内第一人者の小林直樹選手が、デモンストレーションやトークを交えて、二輪車の交通安全を啓発する。

4) 交通安全ポスト

来場者が自分宛てに「交通安全宣言」を書いた葉書を投函し、3ヵ月後に届けられる葉書によって、「交通安全」を再確認し、安全運転につなげる。

5) 安全CMコンテスト

映像制作を手掛ける大学や専門学校から交通安全をテーマにしたCMを募集。会場で来場者にノミネート作品に対し投票してもらい、グランプリを発表する。

6) 千葉県警コーナー

シートベルトコンビンサーや運転適性診断車、パトカーや白バイ等の常設展示に加え、音楽隊のライブ演奏や白バイのデモンストレーションも行う。

7) 「Smocar 2」の設置

日本たばこ産業株式会社の協賛を得て、大型トラックにスタイリッシュなオリジナルデザインの特設架装を施したバス形状でパリのオープンカフェをイメージさせる「Smocar（スモーカー）2」を設置する。

その他特設ステージの大型スクリーンを利用し、ショー当日の案内や二輪車普及ビデオ、千葉県観光案内等を放映する。

2. カロツェリア展示

イベントホール(3,000 m²)を利用して、日本を含めた6カ国のオリジナルカーメーカーとチューニングメーカー13社から、31台の「カロツェリア」が出品される。今回出品するのは、ARMEC(スイス)、BRABUS(ドイツ)、GEMBALLA(ドイツ)、GRINNAL(イギリス)、HARTGE(ドイツ)、KLEEMANN(デンマーク)、SPORTEC(スイス)、TVR(イギリス)、日本からは、オオノカークラブ、チョロキューモーターズ、慶應義塾大学、シバックス、東京アールアンドデー。（詳細は別添一覧ご参照）

この他、会場内にはカロツェリア・カフェを設ける他、自動車技術会の協力により、2003年全日本学生フォーミュラ大会上位入賞車3台が展示される。

3. 環境体験ランド(クリーンエネルギー車同乗試乗会)

報道関係者招待日初日の10月22日(水)から11月5日(水)まで(10時30分~16時30分)、次世代自動車として注目されている燃料電池車をはじめとした「クリーンエネルギー車同乗試乗会」を幕張海浜公園で開催する。

この試乗会には、トヨタ、日産、ホンダ、ダイハツ、スバル、ダイムラークライスラー、日野、三菱ふそうの8社が参加し、燃料電池車、ハイブリッド車、CNG車、計12台の同乗試乗が可能となる。試乗会場は、幕張メッセに隣接する幕張海浜公園内に特設する一周約500mコースで実施する。

(試乗車は、別添一覧をご参照)

4. シンポジウム

ショー会期中、日曜・祝日を除く毎日開催される専門家を対象としたセミナー形式のものから、一般来場者向けのフォーラムやトークショー形式のものまで、全18テーマからなるシンポジウムを開催する。

経済産業省、国土交通省、環境省及び自動車技術会がそれぞれ主催する8テーマと、交通科学協議会、早稲田大学の協力を得て主催する2テーマ、自工会が主催する8テーマとで構成される。

(詳細は、別添一覧をご参照)

5. 幼児くるま絵画展

幼児くるま絵画展は第28回ショー(1989年)より継続実施しており、今回が8回目となる。地元との交流を深めるため、千葉市幼稚園協会の協力を得て、千葉市内の幼稚園の年長児を対象に子供たちが描く楽しい感性豊かな作品を発表している。今回は「くるまでおでかけ!~車で出かけた楽しい思い出~」「こんなくるまがあったらいいな~僕がつくりたい車、私が考えた車~」をテーマに57幼稚園、3,719作品を国際展示場北ホール2階こども広場で展示する。(第35回は53幼稚園、3,287作品)

カロツェリア展示出品者一覧

	出品者(ブランド名)	申込代理者	国名	出品面積 (m ²)	出品台数	出品内容
1	ARMEC(アーメック)	動研	スイス イギリス	25	1	オリジナルカー (3輪)
2	GRINNAL(グリナル)				1	
3	BRABUS(ブラバス)	エクゼ	ドイツ	50	2	メルセデスベース
4	GEMBALLA(ゲンバラ)	ゲンバラジャパン	ドイツ	150	4	BMWベース
5	HARTGE(ハルトゲ)	ハルトゲジャパン	ドイツ	25	1	ポルシェベース
6	KLEEMANN(クリマン)	クリマンジャパン	デンマーク	75	3	メルセデスベース
7	SPORTEC(スポーテック)	スポーテックジャパン	スイス	100	4	ポルシェ・アウ ディ・VWベース
8	TVR	オートレディング・ルフト ジャパン	イギリス	50	2	TVRベース
9	OHNO CAR CRAFT (オノカー Craft)	同左	日本	25	1	オリジナルカー
10	Qカー	チヨロキュー モーターズ	日本	125	4	オリジナルカー
11	慶応義塾大学	同左	日本	150	2	オリジナルカー
12	SIVAX(シバックス)	(株)シバックス	日本	100	2	オリジナルカー
13	東京アールアンドデー	同左	日本	100	4	オリジナルカー
	総合計			975 m ²	31 台	

以上

**第37回東京モーターショー 環境体験ランド(クリーンエネルギー車同乗試乗会)
参加車両一覧**

種別	メーカー	車両名	乗車定員	サイズ(L/W/H:mm)
水素	ダイハツ	ムーヴ FCV-K-2	4	3395/1475/1705
水素	ダイムラー・クライスラー (メルセデス・ベンツ)	F-CeII (エフ・セル)	4	3785/1720/1610
水素	ホンダ	FCX	4	4165/1760/1645
水素	ニッサン	日産エクストレイル FCV	5	4465/1765/1790
水素	トヨタ	トヨタFCHV	5	4735/1815/1685
水素	トヨタ、日野	FCHV-BUS2	60	10515/2490/3360
	*トヨタと日野で共同開発、共同で出品			
HV	ホンダ	CIVIC ハイブリッド	5	4470/1695/1430
HV	三菱、ふそう	三菱ふそうMP-HEV (ハイブリッド・バス)	68	10955/2490/3095
HV	トヨタ	プリウス	5	4445/1725/1490
HV	トヨタ	プリウス	5	4445/1725/1490
HV	トヨタ	プリウス	5	4445/1725/1490
CNG	スバル	スバルレガシィ B4 CNG	5	4635/1730/1425

シンポジウム開催計画

開催日	開催時間	テーマ	主催	場所	概要
10/24(金)	15:00～16:30	The History of Tokyo Motor Show ～歴史を塗り替えた出来事に迫る～	自工会	国際会議室	昭和29年に開催された「第1回全日本自動車ショー」から現在までの「東京モーターショー」を振り返りながら、日本の自動車業界の発展・隆盛と共に歩んできたその歴史を紹介する。
	14:00～17:30	高齢者のための車両安全対策 - 第4回自動車安全シンポジウム -	国交省	201号室	本格的な高齢化社会の到来への移行に向けた今後の高齢者のための車両安全対策について、方向性を明らかにする為、交通事故の現状、高齢者の運転特性、高齢者の人体特性等を紹介する。
10/25(土)	10:30～16:30	叫べデザイン！吼えるニッポン！	自技会	国際会議室	モノづくりの源流に携わるデザイナーが勢いを見だし、自信に満ちた存在を示して、日本発のエネルギーをデザインを通して世界に発信する。
10/26(日)					
10/27(月)	13:30～15:30	自動車業界電子商取引データ交換の 標準化推進	自工会	201号室	自動車業界では商取引データを電子データで交換する為の標準化を推進している。2003年度より各自動車メーカーと部品メーカーとの間で順次実施している、国内だけではなく国際標準化を視野に入れたその活動を紹介します。
	15:30～17:00	交通事故と救命救急医療	自工会	国際会議室	「総合的な自動車交通の安全と救命救急の社会的なシステム」について、様々な視点から掘り下げ、総合的な社会問題として交通安全と救命救急の今後の発展の方向性を探り、課題を提起する。
10/28(火)	13:00～15:00	新時代環境宣言 ～ぼくらの未来～	自工会	国際会議室	現代の環境問題に対して向き合っていかなければならない子供たちの視点から、大人社会への要望、彼等が環境に出来る事等を千葉県下の小学生代表が発表、有識者のゲストと共に新時代の環境作りを考える。
	14:00～16:30	高齢者のアクティブライフを ささえる自動車	自技会	201号室	年を取っても活き活きと暮らす為に、気ままに行きたい所に行ける自動車の存在とアクティブシニア像について、そのイメージを明確に紹介する。
10/29(水)	14:00～16:30	次世代の自動車社会の構築を目指して ～今後の低公害車と燃料電池自動車の開発・ 普及の方向性～	経産省	国際会議室	現在話題になっている低公害車・燃料電池車について、将来どのように普及していくのか、またそれによってクルマ社会がどのように変わっていくのか、技術的な面を中心に考える。
	14:00～17:30	事故死半減を目指して ～自己を見つめ広い視点と知恵で安全・安心 ～	自技会	201号室	交通事故死半減を達成するには、総合的にどう取り組めば良いのか身近な問題として考え、多角的な視点から、交通事故の現状、ドライバーの心理、チャイルドシートの安全、二輪車の安全、死者を減少させる外傷センターの構想等について紹介する。
10/30(木)	10:30～17:00	エコと快適性を高次元で拓く 4.2Vパワーネット	自技会	201号室	次世代標準電圧として、国際合意された電源電圧の4.2V化は、環境問題と快適性を両立させる新技術として、内外で注目されている。「50年に一度の変革期」と言われる自動車電源の現在と、将来を開く4.2V高電圧システムについて、様々な課題や取組みを紹介する。
	13:00～16:00	アジア各国の環境問題とその取り組み	自工会	国際会議室	アジア各国の経済発展に伴い、自動車産業の諸課題の中で、環境分野の比重は極めて高い。アジア各国の大学教授を招き、その国が抱える環境問題と、それに対する取組みを紹介する。
10/31(金)	14:00～17:30	メカ・電気・水素で走る車の技術	自技会	201号室	東京モーターショーで見られる車の技術を解説する事を目的に、3種類の無段変速機、高性能化したハイブリッド車、一般道を走れる燃料電池車について、開発担当者を招きパネルディスカッションを行う。
	13:30～15:00	交通安全 ～世界一安全な国を目指して～	自工会	国際会議室	現在の自動車社会の安全と、交通事故による死者はもちろん、事故件数や負傷者数の更なる削減を目指し、パネリストとともにその対策を追求する。
11/1(土)	13:30～15:00	バイクの世界 その魅力と夢	自工会	国際会議室	ライダーだけでなく、より多くの人々にバイクの魅力を知ってもらうため、様々なフィールドで活躍するバイクフリークな方々をゲストに迎え、バイクで走る事の魅力や楽しさを語り合う。
	14:00～15:30	みんなで考えよう クルマの税金2003	自動車 税制改革 フォーラム	201号室	事前に募集した自動車税に関するユーザーからの意見を紹介し、それについてディスカッションを行う。各パネリストからは「車」に関するエピソードや、諸外国と比較した日本の自動車税制の問題について紹介する。
11/2(日)					
11/3(月・祝)					
11/4(火)	14:00～16:00	環のくらし ～脱温暖化社会に向けた自動車の新技術と利用～	環境省	国際会議室	地球温暖化対策にとって、極めて重要な要素である自動車の近未来像とは？本シンポジウムでは、最新技術、時代の要求をメーカー、ユーザー双方の視点で論議し、有効な施策実現の方向を探る。
	15:00～17:00	I T S くるま新時代	自工会	201号室	I T S によって変わる自動車社会を様々な場面から紹介する。コピキタス社会の実現が与える豊かな生活への期待感と理解を得る。既に導入されている技術のデモンストレーションも行う。
11/5(水)	16:00～18:00	モータースポーツがある ライフスタイル	自工会	屋外特設 ステージ	東京モーターショーのフィナーレ飾る華やかで楽しさ溢れる内容。モータースポーツの魅力、楽しみ方をレース関係者と来場者が共に考え、次回の東京モーターショーでの再会を誓い合う。

内容については変更される場合もある

【8】 関連企画

1. 車いす利用者特別見学日

2001年の第35回ショー（乗用車・二輪車）で計画したが、米国同時多発テロのため、急遽実施を取り止めた「車いす利用者特別見学日」を今回再実施する。

<プログラム概要>

実施日時： 平成15年10月23日（木） 13:00～18:00

対象： 車いす利用者で、会場まで自分で又は付添者の補助により来場することが可能な方。本人及び付添者2名まで同伴可。

入場料： 無料（当日限り）

受け入れ体制： 募集した地元ボランティア及び運営スタッフで対応する。

2. Motor Info Gate

ショー会期中における来場者サービス向上の一環として、凸版印刷株式会社の協賛により、携帯電話をインターフェイスとした情報発信サービス「Motor Info Gate（モーターインフォゲート）」を導入する。

このシステムは、非接触 IC タグを来場者に配布し、タグに記載されている13桁の数字をメールに打ち込み登録してもらう。会場内に設置されるスキャナに、その IC タグをかざすことにより、来場者が希望するショー関連情報が即時にメール配信されるもの。

このシステムは、これまで来場者向けパンフレット、インフォメーション・コーナー、会場案内図などに限られていた来場者へのショー情報提供手段に加え、新たな情報提供ツールとして来場者のホスピタリティ向上に役立つものとする。

3. 東京モーターショーニュース(Tokyo Motor Show News)の発行

富士ゼロックス株式会社と富士ゼロックスオフィスサプライ株式会社の協賛により、ショー会期中は、会場情報を満載したデイリーニュース「The 37th Tokyo Motor Show News」を和文と英文で発行し、プレスセンター及び出品者に配布すると同時に、一部を来場者にも配布する。従来は、A4サイズの両面印刷であったが、今回は、A3サイズ中折で4ページとなり、より読みやすい構成とする。また、同ニュースは、PDFとDocuWorksの形式で、東京モーターショーのオフィシャル Web サイト <http://www.tokyo-motorshow.com/> 上にも掲載する。

4. こども広場(キッズコーナー)の設置

北ホール2階（エスプラナード）には、株式会社トミーの協賛によるこども連れの大人も楽しめる「トミカコーナー」や千葉市内の年長児がくるまに対する夢を描く「幼児くるま絵画展」、ミルクやおむつのお世話などにご利用いただける「乳児幼児サービスセンター」が集合した「こども広場」を35回ショーに引き続き開設する。

5. 自工会PRコーナー

2階中央モール内にPRコーナーを設置し、パネル展示等の他、広報用パンフレットの配布を行う。また、2005年愛地球博の自工会パビリオンのPRも合わせて行う。

6. 献血・骨髄バンクコーナー

日本赤十字による献血コーナーを、中央救護所（北ホール南側）の2階で実施する。また献血コーナー受付（1階）に隣接する形で骨髄バンクのビデオ説明会や啓発活動を行い、献血する方を対象にバンクへの登録希望者があれば登録用の採血も実施する。

【9】 プレス対応の概要

1. 出品者の事前広報解禁日について

第 37 回東京モーターショーの出品者が、自社出品物などの展示内容をショー開催前に、報道関係者に発表できるのは、下記日時以降となる。

- ・新聞 10月14日(火)発表 10月15日(水)朝刊掲載
- ・雑誌 10月14日(火)発表 10月15日(水)以降発売
- ・テレビ、ラジオ、インターネット等
 10月14日(火)発表 10月15日(水)朝6時以降の放送

但し、第 37 回ショー出品に関係ない通常の新製品の発表は、この限りでない。

2. プレスデー

1) プレスブリーフィング

10月22日(水)、23日(木)プレスデーの9:30~17:30に、展示ホールの出品者小間内で実施する。

1社の持ち時間は、ブリーフィングを20分間、移動時間を5分とする。

2) 説明会、パーティ等の開催禁止

会場内外を問わず開場時間中は禁止とする。

3) プレスブリーフィング中の音量規制

プレス取材のための静かな環境を創出するため、次の規制を設ける。

- (1) プレスブリーフィング実施中は、各ホールごとに音出しを全面禁止とする。
- (2) プレスデーは、「規程」の「音量制限：共通通路に面する小間仕切線上で最高77dB(A)以下とする。」項目を厳守のこと。

4) プレス関係者飲食サービス

従来どおり出品者の個別対応とするが、飲食サービスの内容により千葉市保健所に届けが必要な場合は、各出品者または飲食サービス業者が届け出るものとする。

5) プレスへの配布物

- (1) 記念品の配布は禁止する。
- (2) 小間での配布資料手提げ袋は、出品者が自社で通常使用しているものに限る。但し、一般公開日での手提げ袋の配布は禁止とする。
- (3) プレスデーの事務局配布資料については、事務局でキャリーバッグを用意する。

3. プレスセンター

国際会議場2階にプレスセンターを開設する。

センター内は、パソコン、モジュラージャック、電話、FAX等、ショー情報の発信に必要な通信機器を完備する他、各種サービスを提供し、来場プレスの取材活動をサポートする。

4. プレスブリーフィング・スケジュール

第1日 10月22日 First day October, 22	西ホール West Hall 乗用車 Passenger cars	中央ホール Center Hall 乗用車 Passenger cars	東ホール East Hall 乗用車 Passenger cars	北ホール North Hall 二輪車 Motorcycles
9:30 ~ 9:50		日産		
9:55 ~ 10:15		x ルノー		
10:20 ~ 10:40	スズキ	VW		
10:45 ~ 11:05	GM	ベントレー		
11:10 ~ 11:30	オペル	プガッティ		
11:35 ~ 11:55	サーブ	アストンマーチン	三菱	
12:00 ~ 12:30	ラ ン チ			
12:30 ~ 12:50	フィアット	ジャガー		
12:55 ~ 13:15	スバル	ランドローバー		
13:20 ~ 13:40		ボルボ	DC(メルセデス)・	
13:45 ~ 14:05	ホンダ	フォード	スマート共同	ハーレーダビッドソン
14:10 ~ 14:30	アウディ	マツダ	DC(クライスラー)	K T M
14:35 ~ 14:55	ランボルギーニ	プジョー		トライアンフ
15:00 ~ 15:20	ヒュンダイ	B M W	トヨタ	スズキ
15:25 ~ 15:45	マセラティ	アルピナ	ダイハツ	ヤマハ
15:50 ~ 16:10	フェラーリ	ロールスロイス		ホンダ
16:15 ~ 16:35		シトロエン		川崎
16:40 ~ 17:00		ポルシェ		B M W
17:05 ~ 17:25		光岡		ドゥカティ

第2日 10月23日 Second day October, 23	西ホール West Hall 部 品 Parts	中央ホール Center Hall 乗用車 Passenger cars	東ホール East Hall 乗用車 Passenger cars	北ホール North Hall 部 品 Parts	イベントホール Event Hall 加ロツェリア Carrozzeria
10:00 ~ 10:20	カナダ政府				
10:25 ~ 10:45	スウェーデン政府				
10:50 ~ 11:10	VDA(ドイツ部品メーカー)				慶應義塾大学
11:15 ~ 11:35	ジョンソンコントロールズ				東京アルファードデー
11:40 ~ 12:00					クリーマン
12:00 ~ 13:00	ラ ン チ				
13:00 ~ 13:20	ブリヂストン				オカカワフト
13:25 ~ 13:45	ミシュラン				ゲンバラ
13:50 ~ 14:10	x 住友ゴム				フォルクスワーゲン
14:15 ~ 14:35				豊田自動織機	T V R
14:40 ~ 15:00				カリニックカヤイ	アーメック
15:05 ~ 15:25				ボッシュ	
15:30 ~ 15:50				デンソー	
15:55 ~ 16:15				日立グループ	
16:20 ~ 16:40				G K N	
16:45 ~ 17:05				アイソグループ	
17:10 ~ 17:30				x プレンボ	

* :同時通訳、 :逐次通訳、 :通訳未決定、x :不使用

報道解禁日:

報道関係者が、第37回東京モータショーの出品物などの展示内容(出品者から発表されるものが対象であり、主催者である自工会が発表するものは除く)をショー開催前に発表できるのは下記日時とする。

新聞: 10月14日(火)発表 10月15日(水)朝刊掲載

雑誌: 10月14日(火)発表 10月15日(水)以降発売

テレビ・ラジオ・インターネット: 10月14日(火)発表 10月15日(水)朝6時以降の放送

【10】 各種サービス

1. 休憩ゾーン・プライオリティシート

会場の3つのエリアに売店・ベンチを配置した休憩ゾーン（北・南・西休憩ゾーン）を設ける。その他にも会場内各所には約10,000席のベンチを設け、来場者にゆったりと休憩いただけるスペースを提供する。また、高齢者や身障者の方々が優先的に使用できるプライオリティシート（450席）も設置する。

2. 食堂・売店

会場内の常設レストラン（3店舗）・売店（6店舗）が利用出来るほか、来場者の需要に対応するため、北・南・西の各休憩ゾーンに仮設軽食堂・飲食売店を設置する。

また、イベントホール内にはゆったりとした雰囲気の中で展示車両を楽しみながら休憩の出来る「カロツェリア・カフェ」を今回初めて設置する。

1) 出品関係者食堂について

国際会議場2F・コンベンションホールに「出品関係者専用食堂」を開設する。

概要は以下の通り

- ・ 開設期間：平成15年10月25日（土）～11月5日（水）
- ・ 利用時間：喫茶タイム 9：00～17：30
ランチタイム 11：00～15：00
- ・ 支払方法：現金及び第37回東京モーターショー食事券

<メニュー表（予定）>

（価格・税込み）

日替わりランチ （6種類日替わりローテーション）	¥1,000	ポークカレー	¥600
ハンバーグランチ （日替わりで各日2種類を提供）	¥1,000	豚ロースのカツカレー	¥900
日替わり丼 （3種類日替わりローテーション）	¥600 ・ ¥700	醤油ラーメン	¥650
日替わり焼き魚定食 （日替わりで各日2種類を提供）	¥1,000	チャーシュー麺	¥800
豚ロースの生姜焼き定食	¥1,000	とんこつラーメン	¥700
ひれカツ定食	¥1,000	とんこつタラコラーメン	¥800
お刺身ご膳弁当 （1日50食限定）	¥1,000	ラーメンチャーシュー小丼セット	¥1,000
天津丼	¥800	スパゲッティミートソース	¥600
牛丼	¥700	和風たらこスパゲッティ	¥700
まぐろ丼	¥700	サラダバー（1カップ）	¥300
オムライスのハヤシソース	¥750		

食事券のお申込・お問合せ先

㈱日本コンベンションセンター 経理・管理課 TEL.043-296-0525

2) 出品者用食事券について

食事券取扱店舗（入口にステッカー添付あり）

有効期間：10月14日(火)～11月8日(土)

会場内：常設レストラン、常設売店、仮設軽食堂・飲食売店、出品関係者食堂

会場外：周辺ホテル（幕張プリンスホテル、ホテルニューオータニ幕張、ホテル ザ・マンハッタン、ホテルグリーンタワー幕張、ホテルフランクス、ホテルスプリングス幕張）、
周辺商業施設（メッセアミューズモール、パルプラザ幕張、幕張テクノガーデン、ワールドビジネスガーデン、プレナ幕張）

3. 部品部門共同休憩室について

部品部門の休憩室については、従来から希望が多くあったため、共同で使用できる無料休憩室（男女別）を新設した。

1) 設置場所（下図）

西・中央・東ホール出品者用	西ホール北側：約 180 m ²
北ホール出品者用	北ホール2階：約 130 m ²

2) 利用期間と利用時間

平成 15 年 10 月 22 日（水）～11 月 5 日（水） 8：00～20：00

3) 設備

テーブル、椅子、喫煙スペース、更衣スペース（女性休憩室のみ）

4) 利用規則

入室には出品者入門証の提示が必要です。

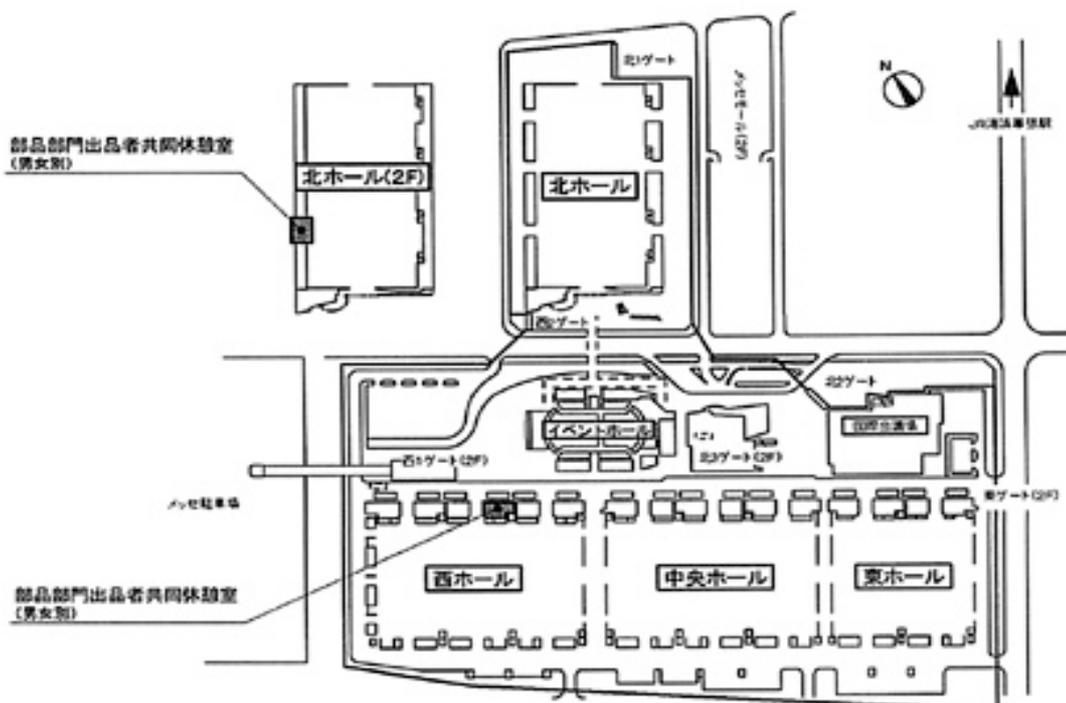
ロッカーや荷物置場はありません。各社のパンフレットや資料、機材などの倉庫代わりに利用することは出来ません。

長時間にわたり一定の場所を確保することはご遠慮ください。

休憩室内での盗難・事故について、事務局は一切責任を負いません。

他の利用者のご迷惑になる行為はお控えください。

部品部門共同休憩室位置図



4. インフォメーション

インフォメーションは、各入場ゲート及び事務局本部前の9ヶ所に配置する。

各入場ゲートでは様々なお問い合わせに対応するほか、北2ゲート近くに設置する「めぐりあい広場」のインフォメーションでは、館内インフォメーション・伝言コーナー・迷子の保護などのサービスを行なう。

5. 救護所

北ホール南側と国際展示場中央ホール南側の2カ所に救護所を開設し、医師と看護婦を常駐させる。

6. 乳児幼児サービスセンター

乳児の世話などが出来るサービスセンターを北ホール2階（エスプラナードのこども広場内）に設ける。保母を常駐させ、希望により3歳から6歳までの幼児を預かる。

- ・授乳・オムツの世話や親子の休憩施設。
- ・3歳から6歳まで未就学児童を2時間を限度に預かる。

【乳児幼児サービスセンター施設概要】

開設時間： 10時から19時（土・休日は9時30分から19時）

設 備： ベビーベッド、おもちゃ類、授乳用給湯ポット、ロッカーなど。

運営管理： 平日は6名、土・休日は8名で対応する。

7. 迷子対応、指定病院、救急車要請

1) 総合サービスセンター

迷子放送の受付、迷子の保護、メッセージボードを設置する。

- ・運営時間：会期中の開場時間内での取り扱いとなる。
- ・場 所：中央ゲートを入った正面に設置。

2) 救護所、指定病院

会場内での傷病者は救護所（中央ホール1階、南休憩ゾーン）で応急処置等を行う。なお習志野第一病院に、ショー指定病院として応急対応を依頼する。

習志野第一病院（ショー指定病院） 住所：習志野市津田沼5-5-25 TEL：047-454-1511（代表）
--

3) 救急車の要請方法

事務局本部まで「傷病者の居場所、状況、性別、年齢」「ブース名と通報者名」を連絡すること。

事務局本部 TEL：043-296-7711（代）

出品者が直接119番通報した場合も事務局本部にご一報願います。

8. コインロッカー

幕張メッセの常設ロッカーに加えて会期中の臨時増設分、合わせて2,128個をゲートやモールの周辺に設置する。

9. 郵便局・宅配便

事務局本部前に郵便局・宅配便の出張所を設置、郵便・宅配サービスを行う。

10. 観光案内所

中央エントランス（2階）に千葉市観光協会が運営する千葉市観光情報センターを設置、東京モーターショー会場周辺の様々な情報を提供する。

11. その他サービス施設

中央エントランス（2階）にはCD（キャッシュディスプレイ）とコピー、FAX送信、DPE、データ出力サービスなどを行なうビジネスセンターが常設されている。

12. 自動車ガイドブック販売所

会場内に7ヶ所の自動車ガイドブック販売所を設置する。自動車ガイドブックの販売をはじめ、同CD-ROM、ハンディバッグ、エコバッグも販売するほか、会期中有効な自動車ガイドブック引換券と現物との引換も同販売所にて行う。更に今回からオフィシャルショーガイド「東京モーターショーガイド2003」（監修：日本自動車工業会、発行：日刊自動車新聞社）の販売も併せて行う。また自動車ガイドブック第50巻を記念して、1954年、日比谷公園で開催された第1回全日本自動車ショウの出品カタログ復刻版も会場にて限定発売する。

13. 東京モーターショーオフィシャルグッズの販売

東京モーターショーオフィシャルグッズを会場内3ヶ所で販売する。東京モーターショーロゴをあしらった携帯ストラップ、Tシャツ、タオルや新たにクッキーやキャンディーなどのお菓子類も加えた商品展開をする。

14. 新聞・雑誌コーナー

一般来場者に自動車専門の新聞・雑誌を通じて、自動車と自動車業界への理解と認識をより一層深めてもらう目的で、国際展示場2階中央モールに新聞・雑誌・専門書籍およびビデオカセットやCD-ROMを販売する新聞・雑誌コーナー（22社25小間）を設ける。

15. 連絡通路横断シェルター

雨天対策および会場の一体感を演出するため、イベントホールと北ホールの間にシェルターを設置する。

16. クリーン作戦

常時場内を巡回してゴミ処理を行なうクリーンスタッフを常駐させ、清掃の徹底を図るとともに来場者の安全を確保するため不審物検索も実施する。

来場者にゴミの分別をお願いするとともにだけでなく、出品者にも企画・デザイン段階から廃棄物の削減を呼びかけており、引き続き3R活動（リデュース、リユース、リサイクル）を推進する。

17. 前売入場券の委託販売

来場者の便宜を図るため、ショー会場売りの他、来場者の生活に密着した機関を通して、前売入場券は一般1,200円を1,000円、中学・高校生600円を500円で販売する。主な委託機関は、JR東日本、主要コンビニエンスストア、プレイガイド、チケット取扱店、旅行代理店、大学生協等である。（消費税込み、詳細は別添一覧をご参照）

18. 当日ナイター入場券の発売

会期中15時以降入場の場合は「ナイター割引」を実施する。

入場料は一般1,000円、中学・高校生500円で、会場の入場券売場のみで発売する。（消費税込み）

19. 東京モーターショーWebサイト

東京モーターショーオフィシャルWebサイトを開設し、インターネットを通じて世界に情報を発信している。第37回東京モーターショー 乗用車・二輪車 (2003年)の概要を始め、シンポジウムやフェスティバルパークと言った特別企画の情報や、東京モーターショーの歴史などのデータを掲載している。

また、会期中は東京モーターショー会場で毎日発行するオフィシャルニューズペーパー「東京モーターショーニュース」を通じ、会場の様子を紹介する。

URL: <http://www.tokyo-motorshow.com/> (言語：日本語・英語)

入場券販売委託先

区分	委託先	実券		コンピュータ券			販売窓口
		前売	当日	前売	当日	団体	
交通	JR東日本	○	○	○	○	-	前売期間： 9月 1日から10月24日 当日販売： 10月25日から11月 5日
	京成グループ	○	○	-	-	-	京成線主要駅、京成バス営業所、北総線各駅、京成トナール各支店
	横浜シティ・エア・ターミナル	○	○	-	-	-	横浜YCAT総合案内
	高速道路サービスエリア	○	○	-	-	-	(那須高原、上河内、守谷、上里、海老名、富士川、牧之原、談合坂)のSA上下、石川PAの上り
コンビニ	セブンイレブン (コンピュータ券は全国9,600店で販売)	○	-	○	○	-	(9/23~)前売実券は東京、神奈川、埼玉、千葉の全店 (9/23~)当日実券は千葉県内の全店
	ローソン	-	-	○	○	-	全国全店
	サンクス	-	-	○	○	-	全国全店
	サークルK	-	-	○	○	-	全国全店
	ファミリーマート	-	-	○	○	-	全国全店
	am/pm	-	-	○	○	-	全国全店
	セーブオン	-	-	○	○	-	群馬、栃木、茨城、埼玉、千葉、長野の全店
	スリーエフ	-	-	○	○	-	首都圏「e-TOWER」端末設置店舗
	ミニストップ	○	-	-	-	-	1都3県全店 当日実券は幕張イオンタウンのみ
	プレイガイド	東京都プレイガイド協会	○	○	-	-	-
CNプレイガイド		-	-	○	○	-	CNステーション全店
チケットぴあ		-	-	○	○	-	全国契約販売店、端末
E+(インターネットプラス)		-	-	○	-	-	E+のホームページ(http://eee.eplus.co.jp)へ申込
旅行代理店	ジェイティービー	-	-	○	○	○	全国の支店及び代理店
	東急観光	-	-	○	○	○	全国の支店及び代理店
	近畿日本ツーリスト	-	-	○	○	○	全国の支店及び代理店
	農協観光	-	-	○	○	○	全国の支店及び代理店
その他	中央大学生協	○	○	-	-	-	多摩校舎、お茶の水校舎
	アマラックストヨタ	○	-	-	-	-	アマラック東京、マガウエーブ
	大学生協東京連合	○	-	-	-	-	(9/10~)東京都内65大学90生協
	生活協同組合	○	-	-	-	-	(千葉県庁生協、ちばコープ、いばらきコープ)
	企業内福利厚生サービス会社	○	-	-	-	-	(リコ三愛サービス、横河バス・イオックス)
東京都勤労者サービス公社	○	-	-	-	-	(中央、港、千代田、墨田、世田谷、杉並、荒川、北、目黒、台東、板橋、新宿) (国分寺、立川、町田、東村山、稲城、東村山、)	

* 販売委託先は10月3日現在

【11】 交通アクセス

会場周辺の開発が進むにつれて、会場周辺駐車場の確保が難しくなっていることと、周辺道路が通常でも混雑が激しいことから、来場者に公共交通機関の積極的利用を呼び掛ける。

1. 鉄道

<JR 東日本>

1) 東京駅から

京葉線・快速で約30分「海浜幕張駅」下車、会場まで徒歩5分。

特急なら東京駅～海浜幕張駅間をノンストップ約23分で運転、自由席特急券は500円。

2) 横浜方面、大宮方面、新宿方面からは、東京駅で京葉線に乗り換え。

3) 府中本町・新松戸・西船橋方面からは武蔵野線が海浜幕張駅に一部直通運転。

4) 中央・総武線各駅停車なら「西船橋駅」乗り換え武蔵野線で「海浜幕張駅」まで一部直通、または「幕張本郷駅」で下車し会場まで臨時シャトルバス

5) 東京モーターショー開催に伴う特別ダイヤ

(1) 快速・各駅停車(土曜・休日に増発)

京葉線・東京駅 海浜幕張駅方面へ、5本の快速を増発

武蔵野線・西船橋方面 海浜幕張駅に6本、海浜幕張駅 西船橋方面に5本の直通電車を増発

(2) 特急列車

<会場まで>

東京駅を9:00～13:30に出発する9本の特急すべてが海浜幕張駅に停車(うち3本は平常どおり、6本は期間中のみ特別に停車)

(12:30を除く毎時00分、30分東京駅発の30分間隔での運転)

<会場から>

海浜幕張駅を15:10以降に出発するすべての特急が海浜幕張駅に停車(平日12本(うち1本は増発特急) 土休日10本。)

(海浜幕張駅の発時刻は概ね毎時10分と40分の約30分間隔)

(3) 東京モーターショー期間中の特別ダイヤについては下記まで。

<http://www.jrchiba.jp/>

<地下鉄・りんかい線>

有楽町線およびりんかい線が新木場駅でJR京葉線に、日比谷線も八丁堀駅でJR京葉線に接続。東西線が西船橋駅でJR総武線・武蔵野線に接続。

<京成電鉄>

上野・日暮里方面、成田方面からは、京成津田沼駅経由で京成幕張本郷駅下車

2) 一般駐車場

第 35 回ショー開催時に使用した臨時 2 駐車場（800 台）が使用不可となり、その不足分を西 - 5（500 台）駐車場を新設したことにより、従来同様の約 20,000 台分の駐車スペースを確保することが出来た。

駐車場		収容台数	開場時間	駐車料金（1日/円）		
				乗用車	バス	二輪車
常 設	メッセ駐車場	6,000 台	10月22日～24日: 6時～23時 10月25日～11月5日: 4時～23時 (休前日は24時間)	900	3,700	200
	地下駐車場(南)	500 台	7時～22時	300/1h		
	地下駐車場(北)	600 台	7時～22時	300/1h		
臨 時	北 1 駐車場	4,900 台	8時～20時	600		
	北 2 駐車場	1,700 台	8時～20時	600		
	西 1 駐車場	1,800 台	8時～20時	600		
	西 2 駐車場	1,000 台	24時間	600		
	西 3 駐車場	600 台	8時～20時	600		
	西 4 駐車場	1,200 台	8時～20時	600		
	西 5 駐車場	500 台	土・休日の臨時稼働	600		
	臨時 1 駐車場	900 台	土・休日の臨時稼働	無料		
合 計		19,700 台				

北 1・2 駐車場については、遠隔地のため無料送迎バスを運行する。

二輪車駐輪場（無料）はシャトルバス乗降場脇。

自転車駐輪場（無料）はシャトルバス乗降場脇と北 2 ゲート脇の 2 ヶ所。

【12】 会場管理

1. 出品者の入場方法

入場の際には各ゲートにて「出品者入門証」をはっきりと提示すること。

1) 搬入・搬出期間および会期中開場時間前（開場 30 分前まで）

西・中央・東・イベントホールの出品者：西 1、東、北 2 ゲート
北ホールの出品者：西 2、北 1 ゲート

2) 会期中開場時間中

全てのゲート（計 6 ヶ所）にて入場可。

施工業者には、「出品者施工業者バッヂ」（1 ヶ 100 円：現地のみ販売）を常時着用させること。但し、有効期間は、搬入・搬出期間及び会期中の会場時間外。（閉場 30 分後から開場 30 分前まで）

2. 会場周辺の交通規制（P31、32 参照）

会期中「北ホール～イベントホール間」において交通規制が実施される。

交通規制実施時間帯については、すべての車両は通行できないので、会場勤務者等への周知徹底をお願いしたい。

	場 所	交通規制時間帯
プレスデー、特別招待日 （10月22日～24日）	北ホール～イベントホール間	8:45～18:30
一般公開日 （10月25日～11月5日）	北ホール～イベントホール間	平日 9:30～20:00 土休日 9:00～20:00

3. 盗難防止について

搬入期間中及び会期中には、各小間内および控え室等に多数の関係者出入りが予想される。事務局では、従来より場内全般の安全管理のため巡回要員を配置する等、盗難・事故防止に努めているが、出品物等が盗難、火災、損傷等の損害が発生しても、事務局では一切その責任を負わない。出品者は施錠、傷害・損害保険の加入など必要な予防措置を講じること。

4. 搬入・搬出期間

1) 搬入期間

乗用車・二輪車部門：平成 15 年 10 月 14 日（火）午前 0 時～21 日（火）午後 6 時

部品・機械器具部門：平成 15 年 10 月 15 日（水）午前 8 時～21 日（火）午後 6 時

2) 搬出期間

全部門：平成 15 年 11 月 5 日（水）午後 8 時～8 日（土）午後 5 時

11 月 8 日午後 5 時までに撤去されない施設については、事務局で適宜処分し、その撤去経費は出品者の負担として後日請求する。

5. 搬入・搬出車両について

1) 車両の乗入れ時間

搬入・搬出期間

指定ゲートから 24 時間可能とする。

場内に進入出来ない車両のために「幕張メッセ常設駐車場内 L ブロック（無料）」を待機場所として設ける。この待機場所は搬入・搬出期間のみとし、会期中の留め置きは禁止する。

（留め置きは有料）

11月5日の搬出スケジュール

- 10:00～： 搬出車両駐車場開場（受付は幕張メッセ常設駐車場 L ブロックとする。駐車位置については、現場警備員の指示に従うこと）
- 20:00～： 作業員、搬出機材（手押し台車、フォークリフト等）の入場開始
優先搬出車両の入場開始（乗用車・二輪車部門：台数制限あり）
- 22:00～（優先搬出車両の搬出状況による）：搬出車両の場内乗入れ開始

会期中

開場時間中：緊急車両、ケータリング車両（許可された車両のみ）を除いて、車両の場内乗入れ、駐車を禁止する。カタログ等を搬入する場合は手押しの台車等に限る。

閉場後：閉場30分後から開場30分前まで。搬入出口（東2、東3、西2）からの進入。

2) 場内への進入・退出ゲート

搬入・搬出車両の場内での混雑緩和策として、展示ホールを色によりブロック分けし、車輛の進入・退出口を定める。色別ステッカーに従って指定の搬入出口を使用すること。

ホール別出品者	進 入 口	退 出 口	色別ステッカー
西ホール（南側）	搬入出口（南1）	同 左	赤
〃（北側）	搬入出口（東2）	搬入出口（北）	緑
中央ホール（南側）	搬入出口（南2）	同 左	オレンジ
〃（北側）	搬入出口（東2）	搬入出口（北）	黄緑
東ホール（南側）	搬入出口（南2）	搬入出口（東1）	黄
〃（北側）	搬入出口（東2）	搬入出口（北）	青
イベントホール	搬入出口（北）	同 左	紫
北ホール	搬 入 出 口 （西1～3、東3～4）	同 左	茶

3) 場内乗入れ可能な車両

設営・撤去・展示物等の資材運搬を行うトラック等に限る。

人員輸送のための車両（バス、乗用車）は、搬入・搬出期間、会期中とも場内乗入れを禁止とする。

人員輸送車両は「出品関係者駐車券」を提示し、出品関係者駐車場（西-2駐車場）に駐車すること。持参していない場合は既設・臨時の有料駐車場を利用すること。